



みなと

Niigata Rinko Hospital

No. 40
Winter

2015.1



八坂神社 京都市東山区 撮影:霜鳥 孝 顧問

Contents

年頭ご挨拶

ドクターズメモ vol.37

前立腺肥大症の治療法のいろいろ 泌尿器科 糸井 俊之 医師

TOPICS

・薬剤師の病棟常駐が始まりました

臨港病院職員のオン&オフ(第11回)

新潟臨港病院 外来診療案内

平成27年2月予定

当院ホームページ
[スマートフォンにも対応]



当院
Facebookページ
ぜひ「いいね!」を!



新しい医師を紹介します (1月着任)



よしざわ かずたか
吉澤 和孝 医師 (内科・腎臓内科)

患者さんから学ぶという姿勢を堅持し、皆様のお役にたてれば幸いです。
よろしく願いいたします。

クリスマスコンサートを開催しました

12月17日(水)、恒例のクリスマスコンサートを1階エントランスロビーで開催しました。

リ्यूとぴあ(新潟市芸術文化会館)専属オルガニストの山本真希さん、フルート奏者の仲野享子さん、新潟市ジュニア合唱団の皆さんにご出演いただきました。

ご出演の皆さま、リ्यूとぴあスタッフの皆さま、ならびに天候の悪い中ご来場下さった多くの皆さま、ありがとうございました。



2015年頭に当たり

院長 湊 泉



新年あけましておめでと
うございます。
臨港病院は本年も引き続き
地域の皆様に安全で良質な医
療を提供し、皆様が安心して
健康に過ごせるようつとめた
いと思っております。

外来については、電子カル
テを導入して以来、カルテ準備、会計処理など事務的作
業は大幅に効率がよくなり、受付会計処理の時間が短く
なったと思います。一方で、診察の受け方が変わり患者
さんは戸惑われたと思いますが、今後ともわかりやすい
ご案内を心がけていきたいと思っております。また、大事な個
人情報を安全に管理するとともに、電子カルテの障害時
の対策等を立てていきたいと思っております。

入院では薬剤師の病棟での業務を増やし、以前にまし
て安全に薬をお使いただけるようになりました。今ま
では薬剤管理の一部を看護師がしておりますが、その
業務が軽減され、より一層看護業務に注力することがで
きると思っております。

病気の診断法、治療法は年々多様化、高度化していま
すが、当院でも最新の情報を取り入れ多くの患者さんに
満足していただけるようになります。しかし、年々外来患
者さんが増え、新規の患者さんや救急患者の受け入れが
できない状況ができています。医療スタッフを増やせ
ればいいのですが、医師、看護師とも不足しており簡単
にはいきません。そこで、外来診療で済ませられる場合
は診療所で、精密検査や入院が必要な場合は病院へ、と
いうように診療所と病院をうまく使っていただく病診連
携を進めさせていただいております。ご自宅近くの診療
所に紹介させていただく場合もあると思っておりますが、その
節はご理解とご協力をお願いしたいと思います。

最後に、当院の診療の質、管理体制が全国の他の病院
と比べてどの程度なのかを知るために、病院機能評価を
受けます。今回は5年ぶり、2回目の更新申請です。申
請準備は容易ではありませんが、第三者の目で当院を評
価していただくためには必要な取り組みだと考えていま
す。本年も職員一同で皆様のお役に立てるようがんばっ
ていきますのでご支援のほどよろしくお願いたします。

地域包括ケアの充実に向けて

事務局長 奥田 敏博



新年あけましておめでと
うございます。
平素は、当院の診療にご理
解とご協力を賜り厚く御礼
申し上げます。

さて、昨年よりはじまりま
した社会保障と税の一体改革

ですが、消費税の増税時期の見直しに伴い、平成27年度は
社会保障費への充当資金が当初計画より4500億円程度
減少すると言われており、既に介護報酬の引き下げが報じ
られています。社会保障費の増加の背景にあるのが、急速
な高齢化の進展とそれによる人口の減少ですが、実際にど
の程度なのか、当院から半径3km以内の地域について調べ
てみました。人口については、2010年の時点で、約
6万8400人の方がお住まいでしたが、高齢化のピーク
とされる2025年には、約6万1600人に減少すると
予測されており、65歳以上の方の割合は2010年の27・
5%から2025年には35・1%に増加すると予測されて
います。2025年以降はどうかというと65歳以上の方の
人口は大きくかわりませんが、全体の人口がさらに減少し
ていくため、65歳以上の方の割合は増加し、2040年に
は約40%になると予測されています。このような状況に限
られた医療資源で対応していくため、医療機関を機能別に
分類し役割分担していくとともに在宅ケアとの連携をス
ムーズに行うため、「地域包括ケア」として、小中学校区
の単位で関係者が集まり、高齢者の方を見守りながら、適
切な医療や介護が受けられる取り組みが行われています。

当院も病院の他、訪問看護ステーション、居宅介護支
援事業所を運営しており、地域の診療所の先生方、また
介護施設、訪問事業者の方と連携し、「地域包括ケア」の
充実に寄与して参りたいと考えております。

今年も「より良い医療を、より安く、より多くの方に」
をモットーに頑張っておりますので、よろしくお願
い申し上げます。

人と人の絆がチームの成長に

看護部長 白川 悦子



明けましておめでと
うございます。
昨年、日本各地では広島
の土砂災害や御嶽山の噴火な
ど自然災害により多くの
人が命を落としました。報道を

通して人と人の絆を再確認されました。

看護部では昨年、新仁会グループ看護研修会を開催し
ました。特別発表やシンポジウム・研究発表を通して、
看護の専門性や、ケアを繋ぐ連携する力、英知に基づい
た創造する力が重要であることを学びました。そして、
全国どこでも「看護」は変わらず、同じ目標を持った素
晴らしい仲間がいると感じました。

昨年4月に就職した新卒者は、社会人としてのマナー
と、看護師としての知識や技術を自分の物にしようという
奮闘をしています。経験や失敗から沢山の学びを得て「看
護」を考える努力をしています。

8月には日越経済協力による、ベトナム人看護師候補
生が新たなメンバーになりました。2月に実施される看
護師国家試験にむけて現在猛勉強中です。

看護は、看護師一人一人がケアを繋ぐ力が大切であり、
人と人の絆によってチームとして成長していきたいと思
います。

本年もよろしくお願いたします。



前立腺肥大症の治療法のいろいろ



泌尿器科 糸井 俊之 医師



図1



図2

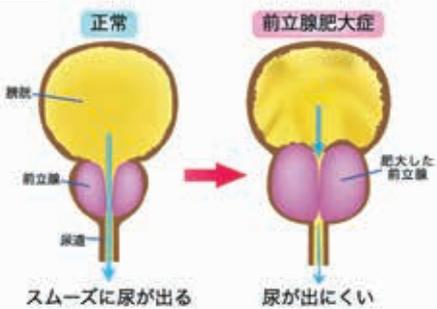
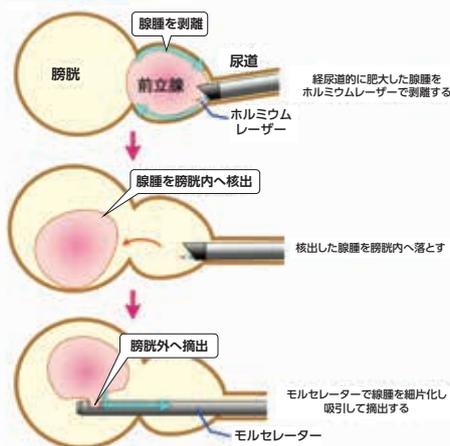


図3

HoLEPの手順



前立腺肥大症とは膀胱の下部にある前立腺が肥大して尿道を圧迫し、排尿に関するさまざまな症状を引き起こす病気です(図1・2)。前立腺肥大症の患者数は増え続けており、現在では50歳以上の男性の2割以上が罹患しています。前立腺が肥大する原因ははっきりわかっていませんが、男性ホルモンを含む性ホルモンの変化や加齢が関与するといわれています。

前立腺肥大症の治療は、薬物治療と手術療法に大別されます。一般的にはまず薬物治療が行われ、効果が不十分な場合に手術療法を選択します。薬物治療としては、前立腺平滑筋に分布する交感神経をブロックすることにより前立腺平滑筋の緊張を緩めて尿道の圧迫を解除する α 1遮断薬が第一選択薬として用いられます。他に前立腺自体を縮小するホルモン剤や前立腺のむくみ・炎症をとる植物製剤などを組み合わせる治療もあります。

手術療法には開腹手術と内視鏡手術があります。

大きな前立腺肥大の場合には開腹手術を行うこともありますが、通常は尿道から内視鏡を挿入して電気メスで前立腺を切除する「経尿道的前立腺切除術」が行われます。最近ではレーザーを用いた新しい内視鏡手術(経尿道的前立腺核出術・HoLEP)も行われています(図3)。この手術では、出血や再発を防ぎやすくなります。当院でも昨年5月より導入しており、これまで20例の方に行っています。

他に心臓病などの合併症のため手術が困難な場合、前立腺肥大により圧迫された尿道に金属製の筒状のものを入れる「尿道ステント留置」を行うこともあります。2〜3年毎の交換が必要となります。

前立腺肥大に対する治療法は多岐に渡ります。患者さんの自覚症状及び他覚症状に加え、年齢や全身状態を考慮して治療法を決定しています。



薬剤師の病棟常駐が始まりました

薬剤部 主任 田中 智
(ICT [院内感染対策チーム]・抗がん剤業務担当)



病室にうかがい、直接ご説明します

私たち薬剤師が2015年1月から全ての病棟に常駐しています。

患者様の中には、「お薬は調剤薬局でもらうのが当たり前」の時代に、病院の薬剤師はどんな仕事をしているのか？」と疑問に思う方もいらっしゃるかもしれませんが。

私たち病院薬剤師の仕事は、患者様の入院中のお薬や点滴の準備、抗がん剤の調製、病室にお伺いしてお薬の飲み方や副作用の説明などです。

新しい仕事として病棟に常駐することにより患者様の状態を



医師・看護師との連携も重要です



リアルタイムで把握することができ、最適な薬物療法を提供できる体制になりました。医薬品の適正使用を推進することにより有効性、安全性の向上を目指していきたいと考えております。

「薬あるところ薬剤師あり」薬に対して私たち薬剤師が責任を持ち、さまざまな職種のスナップと連携し、その中で処方支援等の専門性を活かしながら病棟薬剤業務に取り組んでいきたいと思っております。

アクセス

■ 路線バス(新潟交通)ご利用の場合 (いずれも臨港病院前下車)

◎ 新潟駅(万代口)・

万代シティバスセンター方面より

13 / 13A

山の下・臨港2丁目經由北葉町行き／新潟駅行き

◎ がんセンター・市役所前方面より

5

古町・入船(営)・みなとトンネル經由臨港病院行き

◎ 東区区バス(松崎ルート)

東区役所～栗山～松崎SC～臨港病院～フレスポ赤道～東区役所

■ 自動車ご利用の場合

◎ 国道7号新潟バイパス竹尾I.Cより約5km、紫竹山I.Cより約6km

◎ みなとトンネル(入船側)からは、ランプ出口(北海道航路方面)で出てください。(その後案内看板あり)

アクセス情報はホームページでより詳しくお伝えしています



臨港病院職員の

オン&オフ

連載 第11回



このコーナーでは、当院職員をピックアップアップし、仕事やおフタイムについてご紹介いたします。その職員のお気に入りや、行ってみたいスポットなどで話を伺い、地域情報もお伝えする欲張り企画(笑)です。

今回の職員

阿部 理美さん

(写真右・事務部 医事課)

高橋 恵さん

(写真左・事務部 医事課)



ON

「お二人は医事課の事務職員でも、受付や外来ではなく病棟におられますが、具体的にはどのような仕事をされていますか？」

(高橋) 病棟の「フランク」として、入退院に関するもろもろの準備、病棟にかかってきた電話の応対、書類の管理や整理などの事務を行っています。

「患者さんや面会の方に対応することもあるのですか？」

(阿部) 「ご面会に来られた方へ病室を案内したり、看護師への取り次ぎ、入院費に関してのご説明や診断書や証明書などの書類に関するお尋ねにも対応しています。」

「仕事上心がけていることを教えてください。」

(高橋) 誤りが無いよう、自己判断だけに頼らず、病棟

の看護師などと相互確認を行うようにしています。

(阿部) 自分からすすんで挨拶をするようにしています。また、病棟での情報が院内の関連部署と共有できるように早めの連絡を心がけています。

「これからの仕事上の抱負をどうぞ。」

(高橋) 皆さんに頼ってもらえるように努めたいです。

(阿部) 関連するところへのマメな連絡を行って、「かゆいところに手が届く」人になりたいと思っています。

OFF

「休日・オフタイムの過ごし方は？」

(高橋) 3歳の息子、家族と一緒に買い物に行くことが多いですね。子どもの買い物というよりは、親の買い物に子どもに付き合ってもらっているという感じですね。あと、いまさらみたいですが、韓流ドラマにはまりつつあります。映画鑑賞も好きですよ。

(阿部) 私は小学生のころに始めた剣道を続けていて、休日も道場や学校の子供へ指導や応援に行っています。自分も年に二回くらい大会に出たりしています。あとは友達とカラオケに行ったりですね。

「さて、2015年が始まりました。今年「やってみたいこと」を教えてください。」

(阿部) 私は富士山に登ってみたいですね。

(高橋) 家族みんなまで、海外旅行に行きたいです！

(阿部) どこに行きたいですか？

(高橋) やっぱ韓国かな…(笑)、あとアメリカ。家族でミッキーが好きなのでディズニーリゾートとハリウッドに行ってみたいです。



スポット情報

今回は当院から車で約10分、東区河渡本町の「ノマキチ」さんにお邪魔しました。雑誌等で取り上げられることも多い有名店です。高橋さん、阿部さんも「ずつと気になっていた」とのことです。今回初めての訪問となりました。

お二人はともに、たらこクリームソースのオムライスを注文(写真上)、サラダ・スープのセットで税込994円)。料理のかわいらしい見た目と美味しさ、お店の雰囲気にも満足され、「またプライベートで来ます」と話していました。ハンバーグやドリア、パスタ、若鶏もも肉のソテー(写真中、セットで税込1058円)など、ランチセットは種類も豊富に揃っていました。

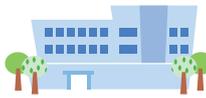


読者特典

ランチタイム食事注文時に「臨港病院の広報誌を見た」と伝えていただくと、ランチドリンクがサービスになります。(平成27年4月末まで)

プレレストラン **Nomakichi (ノマキチ)**
 東区河渡本町22-16-3 TEL 271-9225
 営業時間 11:30~14:30 (ラストオーダー)
 17:30~21:00 (ラストオーダー)
 定休日 水曜、第3火曜





新潟臨港病院 外来診療案内

診察室は診察室番号です。

平成27年2月予定

■ 重症・救急の場合を除き、予約の方の診療を優先しています。 ■ 当日受付(予約無)で2科受診される方は10:00までに受付においでください。

診療科	受付時間	月	火	水	木	金
内科	午前 8:30~11:00	一般内科・呼吸器・新患 4診 窪田 由希子	一般内科・呼吸器・新患 4診 窪田 由希子	一般内科・呼吸器・新患 4診 窪田 由希子	一般内科・呼吸器・新患 4診 窪田 由希子	消化器 4診 窪田 智之
		消化器 5診 風間 咲美	消化器 5診 鈴木 裕	消化器 5診 井上 聡	消化器 5診 井上 聡	消化器 5診 鈴木 裕
		腎臓 6診 大澤 豊 ※診察は9:30から	腎臓 6診 大澤 豊 ※診察は11:00から	腎臓 6診 新大医師 ※第1・3・5水曜のみ診察(予約のみ)	消化器 6診 窪田 智之	腎臓 6診 吉澤 和孝
		一般内科・新患 7診 新大医師	呼吸器 7診 坂井 邦彦	一般内科・新患 7診 新大医師	呼吸器 7診 坂井 邦彦	一般内科・新患 7診 新大医師
		呼吸器 8診 桶谷 典弘	呼吸器 8診 筒井 奈々子	腎臓 8診 霜鳥 孝 ※診察は9:30から	呼吸器 8診 桶谷 典弘	呼吸器 8診 筒井 奈々子
	午後 予約制 (専門外来) 診療時間は 13:30~16:00 睡眠時無呼吸 症候群外来は 治療中の方対象	腎臓 8診 霜鳥 孝 ※再来予約制	腎臓 6診 吉澤 和孝 ※再来予約制	腎臓 6診 大澤 豊 ※予約制	消化器 5診 風間 咲美 ※診察室が変更になる場合があります ※再来予約制	—
		—	—	睡眠時無呼吸 7診 坂井 邦彦 ※予約制	糖尿病 6診 村山 悟 ※予約制	—
		—	—	呼吸器 8診 桶谷 典弘 ※再来予約制(第3水曜は休診)	睡眠時無呼吸 8診 筒井 奈々子 ※再来予約制	—
		—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—
外科・こう門外科	午前 8:30~11:00	9診 小林 孝	こう門外科紹介外来 9診 小林 孝 ※予約制	9診 渡邊 隆興	9診 小林 孝	9診 渡邊 隆興
		10診 八木 寛	10診 八木 寛	—	10診 渡邊 隆興	—
整形外科	午前 8:30~11:00 手の外科は外傷急患 以外は予約の方のみ	1診 佐藤 朗 ※再来	1診 新大医師 ※新患担当	1診 堀米 洋二 ※再来	1診 植木 将人 ※新患担当	1診 佐藤 朗 ※再来
		手の外科 2診 植木 将人 ※予約制	手の外科 2診 松崎 浩徳 ※予約制	手の外科 2診 松崎 または 植木 ※予約制	2診 湊 泉 ※再来	手の外科 2診 松崎 浩徳 ※予約制
		11診 湊 泉 ※新患担当	14診 湊 泉 ※再来	10診 佐藤 朗 ※新患担当	—	10診 堀米 洋二 ※新患担当
眼科	午前 8:30~11:00	15診 橋本 昌美	15診 橋本 昌美	15診 橋本 昌美	15診 橋本 昌美	15診 橋本 昌美
産婦人科	午前 8:30~11:00	14診 西山 藤司夫	—	14診 西山 藤司夫	14診 西山 藤司夫 ※2月中は休診	14診 西山 藤司夫
皮膚科	午前 8:30~11:00	—	11診 坂本 ふみ子	11診 坂本 ふみ子	—	11診 坂本 ふみ子
歯科口腔外科	午前 8:30~11:00	16診 岡野 篤夫	16診 岡野 篤夫	16診 岡野 篤夫	16診 岡野 篤夫	16診 岡野 篤夫
	午後 13:30~16:00 診療時間は14:00~16:00	16診 岡野 篤夫	16診 岡野 篤夫	義歯 16診 大学医師	16診 岡野 篤夫	16診 岡野 篤夫
泌尿器科	午前 8:30~11:00	—	13診 糸井 俊之	13診 糸井 俊之 ※第2・4水曜のみ診察	13診 新井 啓	13診 伊佐早 悦子
	午後 13:00~16:00(月) 13:00~15:00(金) 診療時間は13:30~16:00	13診 糸井 俊之	—	—	—	女性泌尿器科外来 13診 伊佐早 悦子 ※受付15:00まで
耳鼻咽喉科	午後 13:00~16:00 診療時間は14:00~16:00	—	12診 新大医師	—	12診 新大医師	—

当院の外来休診日 ●土曜、日曜、祝祭日 ●年末年始(12/30~1/3) ●創立記念日の午後(5月22日) ●8月13日



当院は日本医療機能評価機構の医療機能評価認定病院です

- 理念** ●地域に貢献する病院
- 基本方針** ●地域に根ざしたトータル医療の提供
●生活習慣病や高齢化社会に対応した医療の提供
●予防医療の推進 ●プライマリケアの実現
●ゆとりある空間の提供 ●明るく明るい職場づくり

●広報誌「みなと」に関するご意見・ご感想は、地域連携センター企画広報室宛にお寄せ下さい。

新潟臨港病院
広報誌

みなと No.40

- 発行日：平成27年(2015年)1月26日
- 発行人：新潟臨港病院 院長 湊 泉
- 編集：新潟臨港病院 広報委員会・地域連携センター企画広報室
- 〒950-0051 新潟市東区桃山町1丁目114番地3
- TEL 025-274-5331(代) FAX 025-274-4560 URL <http://www.rinko-hp.com>

